

ごあいさつ



所長・司法書士
清水敏博

いつも本誌をお読みいただき誠にありがとうございます。
新年度がはじまり、穏やかな過ごしやすい季節になりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
生活が落ち着くまでには、もうしばらく辛抱が必要ですが、一年以上が経過し新たな行動様式にだいぶ慣れたように思います。
この一年で、私の日常も大きく変化しました。

以前は事務所でご相談を受けながら起案など事務作業を行い、会議等の時間が近づく
と急いで出かけるといった慌ただしい日々を過ごしていました。

それが最近では、多くの会議がオンラインに切り替わったことで、外出時間が圧倒的
に少なくなりました。また、会場の行き来やちょっとした雑談（オンラインだと時間
通りに画面から退出するので、雑談がほとんどありません）もなくなりました。

1日1～2時間ほどの余裕が生まれたことで、今まで以上にお客様からじっくりお話
をお伺いできたり、社員とのコミュニケーションの時間も増えました。さらに、事務にも
集中できるようになり、帰宅時間もずいぶん早まりました。

一見すると良いこと尽くめですが、実は良いことばかりでもありません。

と言いますのも、最近のご相談は複雑かつ広範囲に亘ることが多く一事務所での対応
には限界があります。また、当事務所で力を入れている地域の課題解決や活性化活動、
これから求められる創造性を養うためには他土業や異業種、さらに地域団体との密な
連携やネットワークが欠かせません。その土台となるのは、コミュニケーションですが、
オンラインでは対面よりも質の高いコミュニケーションが難しいのが現状です。
対面とのギャップを埋められるよう、対面とオンラインの併用など試行錯誤しています。

新たな試みは大変なことも多いですが、更なるサービスの向上や活力ある地域社会の
実現へとつなげていきたいと思えます。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。



あいおい日和

受付担当の熱帯魚5種類の自己紹介が一巡しましたので、
今年1月に新たに迎え入れたミニ盆栽「黒松」をご紹介します。
樹齢10年。枝ぶりから風格を感じるたたずまいです。

当所では、盆栽の他にも観葉植物を複数育てています。リラ
ックスした雰囲気の中でお客様に相談していただきたいという
考えからです。くわえて、相手を慮る気持ちを育ててほしいと
いう社員への願いからでもあります。

成年後見人として認知症の方や障がいのある方の生活支援を
行っている中で、「声無きに聴き 形無きに視る」という格言の
とおり、たえず想いを馳せ、察する力が求められます。

熱帯魚も植物も目や手をかけないと元気に育ちませんので、
日々の鍛錬につながっていると思えます。



この号の内容

- 1 ごあいさつ
- 2 あいおい日和
- 3 教えてあいおいくん
- 4 地域活動のご紹介
- 5 つれづれよこはま
- 6 日々雑感



当所キャラクター
あいおいくん

